

# 社会教育だより トピックス

## Social Education

第4次小平町社会教育  
中期計画メインテーマ

学びあう 心がつなぐ ひと・まち・歴史

目指す姿「自主自立する学び」「つながりあう学び」「人を育てる学び」「まちをつくる学び」「自分を生かす学び」

### 小平町児童生徒鑑賞事業 劇団かかし座“長靴をはいたねこ”

小平町教育委員会主催の児童生徒鑑賞事業の劇団かかし座公演が、8月28日(木)文化交流センターで開かれ、町内の小学生から一般人まであわせて220人あまりが幻想的な影絵公演「長靴をはいたねこ」を楽しみました。

「長靴をはいたねこ」は、フランスの田舎に暮らす粉ひき屋の三男が、父親から遺産として引き取ったネコ・ジャンの知恵により富と名声を得て、一国の姫と結婚するという物語。来場者は手影絵と役者による演技に時折大きな拍手を送っていました。初めに、児童代表の三人が、劇団員の指導を受けてウサギの手影絵に挑戦し、手影絵のコツについて「手や指をいかにして柔らかくするか」などのアドバイスを受けていました。



### NHK交響楽団メンバーと日本のトップアーティスト「音楽世界一周の旅」



小平町文化交流センターの開館十周年を記念して、NHK交響楽団メンバーと日本のトップアーティストが共演するコンサート「音楽世界一周の旅」が9月4日(木)文化交流センターで開かれました。出演者は、N響から第二バイオリン首席奏者の永峰高志さんとフルート奏者の菅原潤さん、国内アーティストとして旭川出身のテノール歌手五郎部俊朗さん、国立音楽大学准教授でもあるピアニストの三木香代さんの4人でした。

永峰さんはバイオリンで、ドボルザーク作曲「ユーモレスク」をはじめとする4曲、菅原さんはフルートで、組曲「アルルの女」よりメヌエットなどの3曲をそれぞれ披露しました。また、五郎部さんは「ローレイ」をはじめとする3曲を熱唱し、最後に来場した200人を超える聴衆と一緒に「故郷」を大合唱しました。

### 学社融合事業自然体験学習「化石発掘体験」



学社融合事業の一環として、9月9日(火)と10日(水)の2日間に渡り化石発掘体験事業が行われ、9日には町内の小学生と教員ら30名が富岡の小椴子川で発掘体験を行いました。参加した児童は、小椴子川から出る化石や地層の話、ハンマーの使い方や化石の掘り出し方の指導を受けながら化石の発掘に取り組み、新三世期(約1200万年前)のホタテ貝(二枚貝)・つぶ(巻き貝)などの化石を発見・発掘していました。

10日には中学1年生と教員ら30名が、文化交流センターでアンモナイトやクビナガ竜が生きていた時代について学びました。その後、達布の上記念別沢で発掘体験を行い、アンモナイトやイノセラムス(二枚貝)などの化石を発見・発掘していました。



### おびらっ子クラブ「きのこ狩り」

おびらっ子「きのこ狩り」が、9月20日(土)折真布地区で、講師に塚田芳雄さんを迎えて行われ、おびらっ子クラブ員12名が参加しました。参加者は食べられるキノコの識別方法について教えてもらいながら、落葉キノコを次々に見つけて喜んでいました。

最後に、塚田さんから今年のキノコの出来具合や例年との違い、天候と自然植物の成長関係について説明を受けた参加者は、自然の厳しさや豊かな恵みを実感しているようでした。

